

# 学習通信 ～自ら学ぶ小浜っ子～

## 5年生の授業研究会 ～ 道徳 ～

H30.12.10発行

第 13 号

二本松市立小浜小学校

現職教育部(文責：服部陽子)

11月28日(水)は、5年生の道徳の授業研究会が行われ、担任の山岸徹先生と子どもたちが、「規則の尊重」について学習しました。

初めに、「きまり」についてもっているイメージを発表し合いました。しっかり守る、やってはいけない、ゲームの時間、廊下を走らない、やらないといけないなどが出されました。

その後、教材文「セルフジャッジ」(休み時間に、審判なしでサッカーのゲームをして遊んでいた子どもたち。次第にルールを守らない人が出てきてゲームがおもしろくなくなり、数人がぬけていく、という内容)を読みました。セルフジャッジについて賛成か反対か、

また、ゲームがおもしろくなくなってしまったのはなぜなのか、について自分の考えをノートに書き、話し合ったり、きまりは何のためにあるのかについて話し合ったりしました。「安全のため」、「みんなと楽しくゲームを進めるため」、「仲良くするため」、「楽しく生きるため」、「迷惑をかけるないように」、「自分勝手にしないように」などの考えが発表され、規則を守ることが互いのため、みんなのためになり、大切であるということについて考えを深めて

いました。

